

科 目 名

エコまちづくり Ecological Town Planning

3年 前期 2単位 選択

村田 重之・上杉 真平

概 要

大都市への一極集中による都市と地域の格差が益々大きくなり、過密と過疎が増々拡大している。地方の良さを見直して、全国土の均衡の取れた発展によって、様々な地域が高水準の豊かさにあふれた社会の実現が望まれる。地域の再生と環境保全・創出には、その地域の伝統や文化、地域特性を取り入れた新しい視点からの展開が必要である。同時に、住民が中心になって自らの町は自らの手で創り上げるとの気概と行動が必要である。さらに、これからのまちづくりでは環境に配慮した取り組みが不可欠である。熊本県では水俣市が環境に配慮したまちづくりとしてエコタウンを提唱して多くの実績をあげている。また、九州のその他の市町村においても個性的なまちづくりを積極的に実践しており、全国的にも高いレベルにある。これらの事例を参考にして地域の再生や環境創出への道筋について学ぶ。

目 標

- 1) 国土計画と地域計画の役割を理解する。
- 2) 環境に配慮したまちづくりの手法を理解する。
- 3) 地域の再生と環境保全との関係を理解する。
- 4) 地域再生における伝統・文化、地域特性と住民参加の重要性を理解する。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 国土計画と地域計画(1)	全国総合開発計画、新産業都市、土地利用計画
② 国土計画と地域計画(2)	都市と農山魚村の共生、分散型国土づくり
③ 自然との共生(1)	村おこしの原型から学ぶ(大分県大山町)
④ 自然との共生(2)	生態系を生かしたまちづくり(宮崎県綾町)
⑤ 自然との共生(3)	出会いを創る(熊本県小国町)
⑥ 文化を創る(1)	歴史を生かしたまちづくり(鹿児島県知覧町)
⑦ 文化を創る(2)	湯布院音楽祭(大分県湯布院町)
⑧ 文化を創る(3)	歴史的環境を生かしたまちづくり(大分県臼杵市)
⑨ 環境の再生と創造(1)	水郷と掘割再生によるまちづくり(福岡県柳川市)
⑩ 環境の再生と創造(2)	公害の町から環境の町(熊本県水俣市)
⑪ 環境ビジネスの創造	ゴミのリサイクル(福岡県北九州市)
⑫ 農業の活用	モモ・クリ植えてハワイへ行こう(大分県大山町)
⑬ グリーンツーリズム(1)	農村リゾート、体験型リゾート(大分県安心院町)
⑭ グリーンツーリズム(2)	阿蘇グリーンストック(熊本県阿蘇市)
⑮ 試験	

授業方法

教科書を主体にしながらスライドやビデオを用いて講義を進める。

学習到達度の評価

- ① 授業中に学生に質問して講義に集中させるとともに、学生の理解度を確認しながら講義を進める。
- ② 適宜レポートを課して授業の理解度をチェックするとともに発展学習を促す。
- ③ 学生による授業評価および学生自信の自己評価の結果を今後の授業の参考にする。

評価方法

レポートや試験等から総合的に評価する。

教 材

教科書：鈴木 廣 他3名 編「まちを設計する」九州大学出版会(1997)